

第9期 事業報告

2017年9月1日～2018年8月31日

公益社団法人
日本サードセクター経営者協会

I 基本方針

1. 事業に関する方針

政府・行政(第一セクター)や企業(第二セクター)に比べて力量が乏しく分断されていたサードセクター組織が連携・協力し社会的存在感が小さかった日本のサードセクターの形成を目指します。ビジョンと活力あふれるサードセクターが加わることで、三つのセクターがそれぞれ適切な役割を果たす多元的な社会の実現することを目指します。設立時の理念の確かさを自覚し、下記に焦点を当て、事業を展開していきます。

- ・ 経営者の孤軍奮闘状況とセクター内部の縦割り構造の解消
- ・ 個々の非営利組織に求められている、自律的で成果を追求した経営力の向上
- ・ 公共サービス改革へのセクターとしての方針の表明と対応

サードセクター組織経営者の能力開発

(つなぐ事業)

地域や社会の課題を解決すべく、テーマ別や地域別に部会を立ち上げ、経験を交流することで、より社会のニーズの合ったサービスの提供ができるように支援し、同時にサードセクター組織のサービスの質を向上させました。さらに、次世代メンバーが先輩サードセクター組織の経験を学ぶ機会をもちました。

サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた支援

(伸ばす事業)

サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた支援において重要なことは人材養成です。地域創生においては、まちづくり、ひとづくり、しごとづくりといわれていますが、まずは「ひとづくり」です。利益重視ではなく、社会的価値と経済的価値を創出することができる経営者の養成に努め、セミナー、コンペティションの開催、講師派遣事業等を行いました。

また、サードセクター組織は地域や社会の課題を解決するということと、ビジョン達成のための有効な事業を実践し、成果をだすためにも、組織の基盤強化が必要です。利益重視の経営とは異なり、サードセクター組織の経営を理解した起業支援や経営支援が求められています。サードセクター組織へのコンサルティングとサードセクター組織へのコンサルティングができる人材養成に努めました。サードセクター組織へのコ

ンサルティングの道具としてツリー型ロジックモデルとビジネスモデルシートを活用しています。広く活用して頂くために、代表の後房雄と執行理事の藤岡喜美子が出版した「稼ぐ NPO」を使い、広く普及啓発を行いました。2016年の熊本地震発生後、被災者を支援するサードセクター組織の支援を特定非営利活動法人くまもと未来ネットと連携・協力し、継続して行っています。

サードセクターの在り方に関する調査・研究と提言活動

(提言する事業)

サードセクターを構成する各種非営利法人や協同組合あるいは社会的企業等の実像(実数、財政規模、従事者数 等)および経営者の実態を把握し、サードセクター確立に向けた状況を把握していくために、独立行政法人経済産業研究所「日本におけるサードセクターの全体像とその経営実態に関する調査研究」研究会のプロジェクトリーダーを代表の後房雄が務め、委員として理事が参加しました。8年間にわたる調査の結果を集計、分析しています。

また、主権者としての市民が地域や社会をよくする活動を実践するためには、地域内分権の仕組みを確立させることが重要であると考え、全国の好事例を調査いたしました。法人10期において視察調査を行う予定です。

2. 運営に関する方針

法人2期から法人6期まで大きなプロジェクトとして、東北の復興起業家をはじめ、サードセクター組織起業支援を行ってきました。法人7期、8期、9期はそれらリーダーに寄り添い、継続的に支援を行ってきました。全国各地のサードセクター組織の経営者と連携をとり、協力を頂きながら、セミナーやコンサルティングを行い、サードセクター組織が活力ある活動ができるように支援をしてきました。

II 事業報告

1. サードセクター組織経営者の能力開発事業

1) 部会活動

先輩サードセクター組織の経営者をゲストに招いてお話しを聞いたり、互いの経験を交流したり、助け合ったりしました。

●日時：2017年11月23日

参加者：7名

場所：パシオン TOKYO

内容：女性による女性のための女性が活躍し社会を良くするプロジェクト
自分らしく起業をされた女性起業家のみなさんが中心になって開催した、「メルカドおおた」にて JACEVO の会員が起業家のインタビューを行い、起業家の手伝いを行いました。

●日時：2018年5月10日

参加者：15名

場所：パシオン TOKYO

内容：～聞かせてください、あなたの波乱万丈人生～

ゲストスピーカー 明石祥子さん（ラブランド代表）

熊本市は、日本で初めて、フェアトレードシティ（タウン）の認定を取得しています。熊本市が認証を受けるまで、ご尽力された「ラブランド」の代表明石祥子をお招きしました。日本のフェアトレードショップ老舗の「ラブランド」を熊本で開店し、熊本地震に見舞われ、さらに火事で全焼し、それでも強い意志をもってお店を続けている明石祥子さんの話をお聞きしました。

ラブランド <http://lovelandkuma.wixsite.com/home>

●日時：2018年7月24日（火）19：30～21：00

参加者：16名

場所：パシオン TOKYO

内容：ファストファッション全盛の現代、私たちが買っている洋服を巡る知られざるストーリーに光を当て、「服に対して本当のコストを支払っ

ているのは誰か？」という問題を提起するドキュメンタリー映画の上映会を行いました。上映会終了後、社会的起業を考える方、フェアトレードに関心のある方と意見交換を行いました。

●日時：2018年9月5日（水）14：00～15：00

参加者：3名

場所：パシオン TOKYO

内容：ステージアップカフェ TOKYO

起業を目指しているが、何から手を付けていいかわからない。アイデアがあるが、うまくプランに落とし込めない。地域や、社会問題を解決するビジネスがしたいなど、起業に向けた悩みを互いに話し合いました。今後定期的に開催する予定です。

2)年次大会

「民の担う公共」等サードセクターの基本的なあり方について、時々テーマを設定し、基調講演、パネルを軸に知見を高めるための年次大会を実施しました。

●日時：2018年2月11日（日）13：00～16：30

参加者：26名

主催：公益社団法人日本サードセクター経営者協会

共催：日本財団 CANPAN プロジェクト

場所：日本財団

内容：日本版セオリーオブチェンジとロジックモデル

基調講演「ツリー型ロジックモデルの概要と活用」

後房雄（名古屋大学大学院法学研究科教授、日本公共政策学会会長）

事例報告

小西由美枝氏（プリメックスキッズ株式会社代表）

藤本有希氏（一般社団法人ハートリレープロジェクト代表）

小串真美氏（愛知県豊明市企画政策課課長）

パネルディスカッション

小西由美枝氏×藤本有希氏×小串真美氏

事業活動から目標までのプロセスを明示するためのツリー型ロジック・モデ

ル・シートを紹介しました。

左から右につくるロジックモデルは事業を正当化することになります。そこでアメリカでは、90年代にセオリーオブチェンジが開発されました。日本では、後房雄が2005年にツリー型ロジック・モデル・シートを開発し、自治体の総合計画策定や行政経営に活用をしてきました。創業時にツリー型ロジック・モデル・シートを作成された小西由美枝氏と藤本有希氏をゲストに招きどのように作成し、どのように活用されてきたかをお聞きしました。また愛知県豊明市からは、総合計画をどのように作成したのか、今後ツリー型ロジック、モデル・シートをどのように活用していくかをお聞きしました。

2. サードセクター組織の自立的・効率的経営に向けた 支援事業

1) 地域社会雇用創造事業

社会性重視の経営を行う起業家の支援のために、ツリー型ロジック・モデル・シートを活用し、起業塾を開催しました。

※ツリー型ロジックモデル…社会的インパクト評価のツールとして注目されているロジックモデルのひとつで目標達成のためのPDCAサイクルに関連づけることを重視したロジックモデルです。

●実践！！ビジネスプランをつくろう

日時：2018年9月6日～10月4日

参加者：16名

場所：Startup Hub Tokyo

内容：受講生の想い（ビジョン）を言葉にし、ビジョン達成のために魅力ある事業を考え、ビジネスプランを作る4回連続のセミナーです。

ビジネスプラン作成にあたっては、ツリー型ロジックモデル使っています。

●ゼロから始める女性のための起業塾

日時：2018年2月15日～3月18日

参加者：10名

場所：平日コース 主に女性向け創業支援施設「パシオンTOKYO」（大森）

週末コース Biz BEACH CoWorking（京急蒲田）

●ゼロから始める女性のための起業塾

日時：7月4日～8月1日

参加者14名

場所：パシオン TOKYO

内容：

カリキュラム

- ・これってビジネス？ ガイダンス
- ・ビジョンを描こう
- ・ツリー型ロジックモデルをつくろう
- ・資金調達と公的資金の活用
- ・収支計画を作ろう
- ・ビジネス・モデル・シートを作ろう
- ・マーケティング基礎知識をしろう
- ・成果報告会

2)フルコストリカバリーセミナー

起業塾において、フルコストの意味とその回収の必要性を啓発しました。

3)自主セミナーの実施

●NPO関連予算説明会

日時：2018年4月16日（月）18：30～20：00

参加者：8名

場所：パシオン TOKYO

内容： サードセクター組織に対し、NPO 関連予算の説明会を行いました。

●改正NPO法早わかりセミナー

日時：2017年12月6日（水）14：00～16：00

参加者：5名

場所：パシオン TOKYO

2016年にNPO法（特定非営利活動促進法）が改正され、2017年4月からスタートしました。このセミナーで法改正のポイントを理解して頂きました。

3) 講師派遣事業

政府・行政、企業、サードセクター, 学校に対し、各セクターの関係、法律、制度について等講師派遣を行いました。主な派遣先は世田谷区、日本工学院専門学校です。

派遣実績：17回

5) コンサルティングの実施

理事、正社員、及び JACEVO 認定コンサルタントによる、フロントラインのサードセクター組織に対し、成果を生み出す組織としての経営コンサルティングを実施しました。主に、東京都、愛知県、熊本県において実施いたしました。

コンサルティング実績：20団体

6) コンサルタント養成講座

日時：2018年1月27日（土）、28日（日）

参加者：9名

場所：パシオン TOKYO

認定者：2名

（日本版セオリーオブチェンジ＝ツリー型ロジックモデル）資格認定の条件を満たされた方は JACEVO 認定コンサルタントの認定証を交付しました。

「セオリーオブチェンジ＝ツリー型ロジックモデル」は成果を生み出すことができる組織となるため、私たちの知恵を活かして社会を変えていくために、作りながら考え、考えながらつくる、使いながら変えていくツールです。日本版セオリーオブチェンジ＝ツリー型ロジックモデルは未来を創るための道具です。

3. サードセクターの在り方に関する調査研究と提言事業

1) 自治体における公共サービス実施機能の実態調査

保育所の規制緩和などが積極的にすすめられ、今後自治体における公共サー

ビス改革は加速していくものと思われます。本調査は3年後の実施を目指します。

2) サードセクター形成状況調査

独立行政法人経済産業省が実施する「日本におけるサードセクターの全体像とその経営に関する調査研究」プロジェクトにおいて実施した、過去4回の調査の集計・分析を行いました。サードセクターを構成する各種非営利法人や協同組合あるいは社会的企業の実像（実数、財政規模、従事者数等）および経営者の実態を把握し、法人10期において出版の予定です。

3) 政府・行政との政策研究会の開催

政府・行政とサードセクター組織経営者により、社会をよくするためにはどのように一体的に関係を変化させていくのがよいのか。特に地域内分権についての調査を行いました。法人10期には好事例を調査し、広く関係者が活用いただけるようにしていきます。

(4) 政府などへの提言活動

サードセクターの実態、今後の展望、政府・行政とサードセクター組織との関係の整理、サードセクターの形成およびサードセクター力量拡大のための基盤整備、経営力向上など、政府・行政に対し、委員会等を通じ提言を行いました。

※サードセクターとは

企業・行政と並ぶ三番目のセクターとして存在感を示す必要があることを意図した表現です。具体的には、社団法人・財団法人（一般、公益）、社会福祉法人、学校法人、医療法人、宗教法人、厚生保護法人、協同組合、社会的企業、特定非営利活動法人、市民活動団体、地縁組織等を含めた、社会的課題を解決する広範な組織群を示しています。

Ⅲ 組織の運営に係る事項

1. 社員総会の開催

日時：2017年11月26日（日）13:00～15:00

場所：パシオン TOKYO（東京都大田区大森北二丁目3番15号）

出席者：会員6名

定足数21名（正会員41名）に対し、出席者6名、議決権行使書16名、委任状6名、合計28名であるため、総会の成立を確認した。

決議事項：第8期事業報告（案）の承認の件、第8期決算報告（案）の承認の件、役員選任の件が承認された。

2. 理事会の開催

（1）第1回理事会

日時：2017年11月10日（金）15:00～17:00

場所：パシオン TOKYO（東京都大田区大森北二丁目3番15号）

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席1名、監事1名

報告事項：代表理事、執行理事より活動報告がなされた

決議事項：会員入会について承認された。

法人9期通常総会議案について承認された。

法人8期事業報告について承認された。

法人8期決算書について承認された。

（2）第2回理事会

日時：2018年2月11日（日）17:00～18:00

場所：日本財団ビル（東京都港区赤坂1丁目2番2号日本財団ビル）

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席6名、欠席1名

報告事業：代表理事、執行理事より活動報告がなされた。

決議事項：寄付金規定については継続審議とした。

（3）第3回理事会

日時：2018年4月17日（火）18:00～19:00

場所：パシオン TOKYO（東京都大田区大森北二丁目3番15号）

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名
報告事項：代表理事、執行理事より活動報告がなされた
決議事項：会員入会について承認された

(4) 第4回理事会

日時：2018年8月21日(土) 13:00～15:00

場所：パシオン TOKYO (東京都大田区大森北二丁目3番15号)

出席：決議に必要な出席理事の数4名、出席7名
報告事業：代表理事、執行理事より活動報告がなされた
決議事項：会員入会について4名が承認された。

法人9期事業計画、予算については承認された。

従たる事務所を設置することに関し意見交換し承認された。

第9期事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年11月

公益社団法人日本サードセクター経営者協会